

近年、東京一極集中を是正し、地方の人口減少に歯止めをかけ、日本全体の活力を上げることを目的とした一連の政策、地方創生（ローカル・アベノミクス）の話題を聞くことも少なくない。地方創生は、地方創生推進交付金、地方創生加速化交付金などといった「新型交付金」、東京一極集中是正の観点から、中央省庁や研究・研修機関などの地方移転を検討する「政府関係機関の地方移転」、地域の活性化のために、国による規制を緩和するなどの特例を、特定の地域に適用する「特区」、地域経済分析システム「RESAS（リーサス）」やオンライン講座を用いる「情報・人材支援」、地域の活性化や雇用の創出などを推進するため、地域再生法に基づき、地方自治体の「地域再生計画」を支援する地域再生制度や中央市街地の都市機能や経済活動の活性化を、少子高齢化、消費生活などの社会環境の変化に応じて支援する中心市街地活性化といった「地域再生・計画」など様々な政策によって構成されているが、本論文では地域再生・計画に着目することにした。

特に、アニメを活用した町おこしで、人気アニメ「ガールズ&パンツァー」を用い町おこしを行いふるさと納税の税収が2億円を超えるなど経済に大きな影響を与えた茨城県大洗町と大人気オンラインゲーム「刀剣乱舞-ON LINE-」とコラボし国広三兄弟（山姥切国広・堀川国広・山伏国広）と縁の深い地域として、名刀山姥切国広を展示した「山姥切」展により経済効果4億円を記録した栃木県足利市について詳しく調べた。